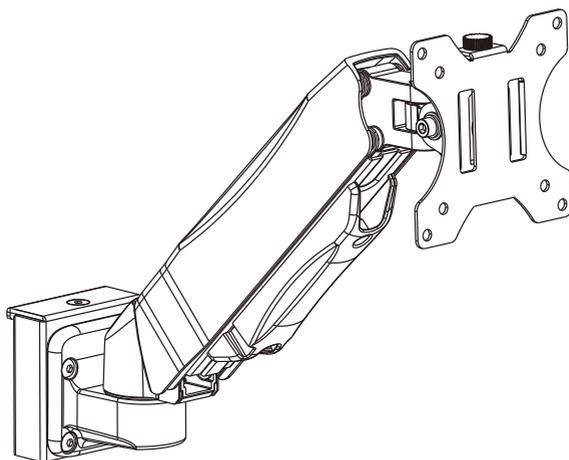


# TV セッターオフィス PH1 シリーズ専用オプション モニターアーム 111

## 設置マニュアル



この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意ください。よろしくお願いいたします。



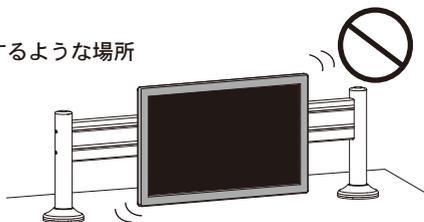
組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・卓上用途以外でのご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

## 設置にあたって：必ずお読みください



- 必ず荷重強度のあるしっかりとしたデスクやテーブルに設置してください。  
無理な設置は、デスクやテーブルの転倒、モニターの落下や大怪我に繋がります。
- ある程度、天板に厚さのあるデスクやテーブルに設置してください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。  
火災などの原因になります。
- 以下の場所には設置をしないでください。
  - ・振動があるような不安定な場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・湿度や温度の高い場所
  - ・開閉するドアの側
  - ・その他、設置に不適格だと思われるデスクやテーブル



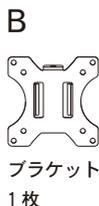
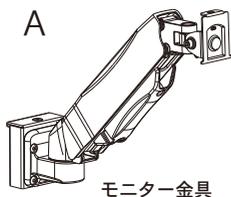
※振動など不安定な設置

## さあ、設置・・・の前に

- 設置前にモニターと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	モニター背面对応ネジ穴幅	対応モニターインチ	最大モニター重量
モニター背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、テレビ背面がフラットである事	モニター背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 75×75mm、100×100mm VESA 規格	<b>13-32</b> インチ	<b>2～6.5kg</b>

## 付属部品リスト一覧



M-A



M4×12mmボルト  
4本

M-B



M4×16mmボルト  
4本

M-C



M5×12mmボルト  
4本

M-D



M5×16mmボルト  
4本

M-E



M5ワッシャー  
4個

M-F



小スペーサー  
4個

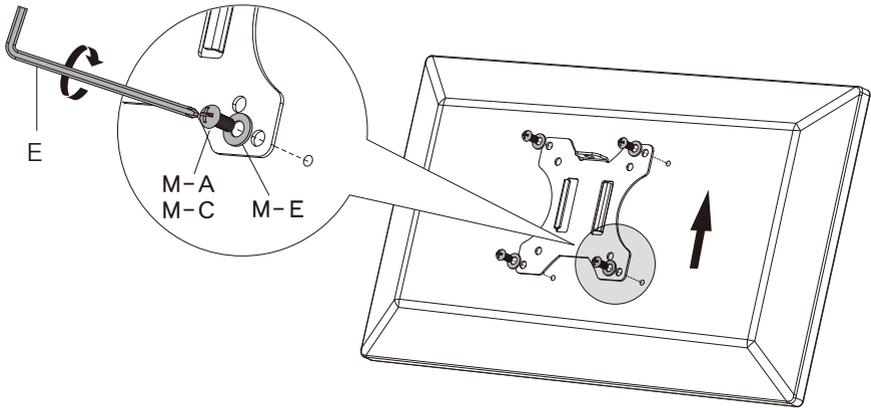
## ステップ 1

## ブラケットの取り付け

図を参考にして、お手元のモニターに合うネジを使用し、ステップ1で取り外したブラケットをモニター背面に取り付けます。

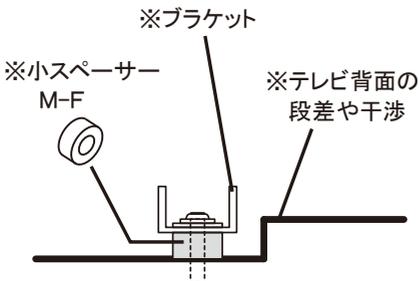


- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一ネジが合わない場合、取り付け可能モニター (VESA 規格対応) で無い事になります。お取り付けができませんので設置作業を中止してください。



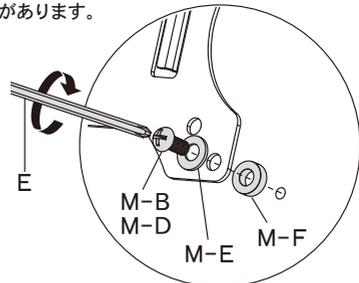
上図を参考にしてブラケットをモニター背面の壁掛け用ネジ穴に取り付けます。取り付けの際に上下を良く確認してください。付属品のネジの中から合うネジ [M-A、M-C] を使用します。モニターに合うネジが無い場合、お手数ですがホームセンターなどでご用意ください。M5ワッシャー [M-E] を使用して固定します。

### モニター背面に段差があった場合



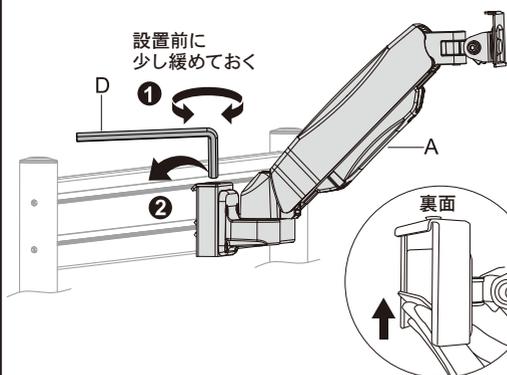
### ネジの長さが余ってしまう場合

ネジの長さが余ってしまう場合、小スペーサー [M-F] をブラケットとモニターの間に挟んでネジ止めします。ネジ穴の深さより長いネジを使用するとテレビ内部の基盤を破損する恐れがあります。



## ステップ 2

## パネルへの設置



設置前に  
少し緩めておく

①

②

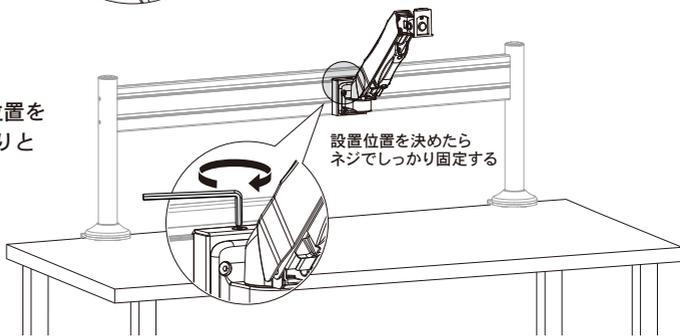
図を参考にして、金具をパネルに取り付けます。上部のネジを回して少し緩め(①)、パネルの溝に金具裏面の鉤状ツメ部を引っ掛け、下部ツメ部分を指で押し上げながら隙間に入れ込みます(②)。



裏面

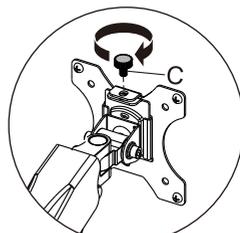
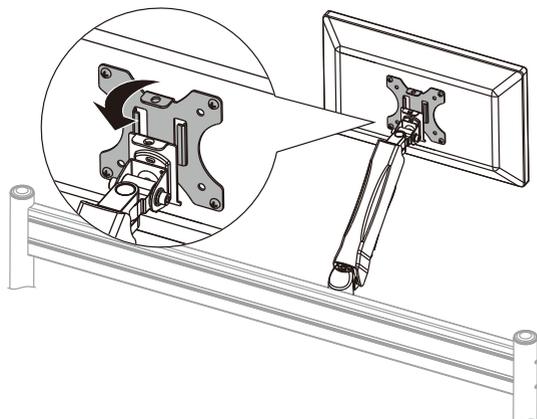
下のツメ部分を指で押し上げながら、上下のツメを溝に対して平行にして差し込みます。

金具を左右に動かして設置位置を決めたら、上部ネジをしっかりと締めて固定します。

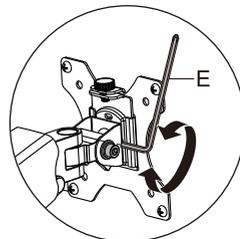


設置位置を決めたら  
ネジでしっかり固定する

モニターに取り付けたブラケットを金具に引っかけます。ブラケットネジ[C]でしっかりと締めます。



上部のネジをしっかりと締めて固定する

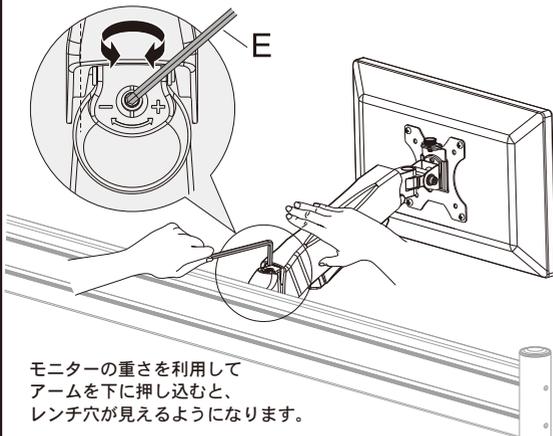


画面が手前に倒れてきたりスムーズに動かない場合は、六角レンチ [E] でネジを調整してください

### ステップ 3 アームスプリング部のテンション調節

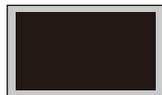
- アームスプリングを調節する事で、アームの上下動を快適に行う事が出来るようになります。
- 取り付けしたモニターの重さによって、アームスプリング部のテンションを調節します。下図を参考にして、アームを上部から押し込むとレンチ穴が見えるようになります。

5mm六角レンチ [E] で、スプリング強度を調節します。モニターの重さに応じて以下の方向に調節します。



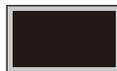
モニターの重さを利用してアームを下に押し込むと、レンチ穴が見えるようになります。

モニターが重い時  
(アームが勝手に下がる)



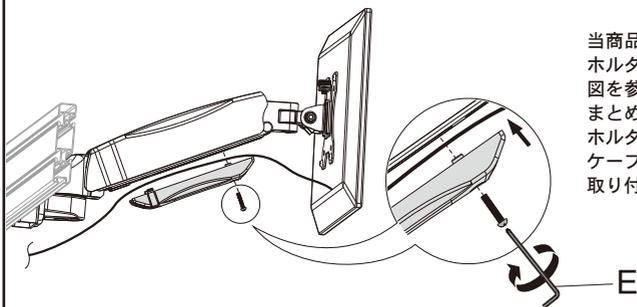
に回して調節

モニターが軽い時  
(アームが勝手に上がる)



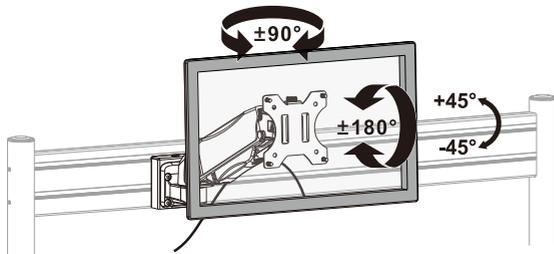
に回して調節

### ステップ 4 アームスプリング部のテンション調節



当商品のポイントとして使いやすいケーブルホルダーがあります。図を参考にHDMIケーブルなどを綺麗にまとめましょう。ホルダーを取り付けているネジを外し、ケーブル類を通して再びネジでホルダーを取り付けます。

### ステップ 5 取付の終了と確認



各取り付け部分や可動部分にガタつき等が無い、チェックをしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締めなおしてください。少しでも違和感があった場合、モニターをいったん取り外し、専門業者に相談してください。これらのチェック作業は3ヵ月に程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。



ご注意

- 可動部に手や指をはさまないようご注意ください
- アーム部にものをかけないでください
- 振動・衝撃のある場所に設置しないでください